

# HPV ワクチンのキャッチアップ接種について

## 【注意】

キャッチアップ接種期間中に3回接種する方は、令和6年9月末までに初回接種を済ませる必要があります！

令和4年4月より、HPV ワクチンのキャッチアップ接種が行われています。



HPV ワクチン…  
キャッチアップ接種??

子宮頸がんのほとんどは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染で生じることがわかっています。HPV の感染を防ぐために、日本ではワクチン(HPV ワクチン)の接種が提供されています。

また、キャッチアップ接種とは、

- 平成9年度生まれ～平成19年度生まれ(誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日)の女性で、HPV ワクチンの定期接種の対象年齢(小学校6年から高校1年相当)の間に接種を逃し
- 過去に HPV ワクチンの接種を合計3回受けていない方 ※  
を対象に令和7年3月まで HPV ワクチンを公費(無料)で接種できるものです。  
対象の方は、住民票のある市町村からお知らせが届きます。

※ HPV ワクチンは合計3回接種します。1回接種したことがある方は残り2回、2回接種したことがある方は残り1回、公費で接種を受けることができます。



キャッチアップ接種について(厚生労働省ホームページより)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv\\_catch-up-vaccination.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html)

ただし、ワクチンで防げない HPV 感染もあります。子宮頸がん検診を定期的に(20歳以上の方は2年に1回)受けることが大切です。

また、HPV 感染は主に性的接触により起こります。パートナーと共に、性感染症の予防も忘れずに！

ワクチンの副反応等が心配で接種を悩んでいる方、そのほか気になることがある方は、月1回朝倉キャンパスに来られる学校医(婦人科医師)に相談もできます。予約も可能で、朝倉キャンパス以外の方も相談できますので、相談希望の方は保健管理センター(TEL:088-844-8158)までお気軽にお問い合わせください(婦人科医師の相談日は、KULAS のお知らせ一覧や保健管理センターのホームページでも確認できます)。



なお、ワクチン接種に係る手続き方法に関しては市町村により異なりますので、住民票のある市町村の担当窓口にお問い合わせるようにしてください。